

えがおのたね

2019年

夏



室内遊具が贈呈されました。



ありがとうございます

ございます

ある日、武藏野銀行の方から“きなこさんに、子ども達が遊べるもの寄贈したい地域の会社の方がいる”という内容のご連絡をいただきました。

所沢市東所沢にある、(株)スパンドニクスさんという会社(半導体の測定器メーカー)です。予算内であれば何を買ってもいい、ということでしたので、高価でなかなか手を出せなかった「巧技台セット」(跳び箱、平均台、はしごなど)を購入することにしました。公園でなかなか遊べない梅雨時期に間に合えばと、6月12日には「贈呈式」を開き、スパンドニクスさんの会社の人たちにも子どもたちが存分に遊んでいる姿を見ていただくことができました。本当にありがとうございました！！



ごきげんさん

で生きていますか？

【子どもの気持ち】～子どもの権利条約に照らして～

お子さんのいらっしゃらない方でも、すでに我が子が大人になっていても、少し子どものことを一緒に考えてみませんか？

人は赤ちゃんで生まれて、必ず「こども時代」を過ごします。このこども時代を「どんな気持ちで過ごすか」ということが、その後の人生に影響を与えるそうです。おそらく、この文章を読んでいる方も、自分の体感で思い当たることがあるかもしれません。

「えがおのたね」は、生きづらい子ども、育てづらい子育てをしていらっしゃる保護者の方たちの、笑顔で幸せに生きる力になりたいと思って法人を立ち上げ、設立総会から6年の月日が経ちました。

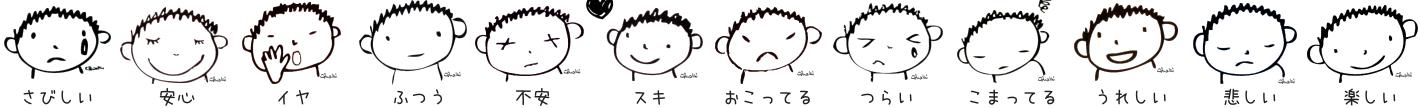
『誰もが笑顔で幸せに生きる』には、この子どもの気持ちを考えない訳にはいきません。

親や親に代わる人は、我が子に幸せになってもらいたいと願うはず。でも、子育ての責任が自分にあると考えて「しっかりしなさい」「テストでこんな点数とったの？！」「何度も言ったらわかるの！」…いろんな言葉が投げかけられることを目にすることがあります。胸が締め付けられる悲しいニュースもあります。

学校では、「わかる人は積極的に発表しないと内申に響くぞ～」「大きな声でいさつしなさいっ！」「提出日を過ぎて宿題出されても受け取れんな」などなど。。。。

子どもの人格の完成を目指す教育のはずが、過度に競争があおられ、人格否定とも感じられることがあります。テストの点数が悪くて、ツイッターに「死にたい」とたくさんの子どもたちが訴えています。

今から25年前の1994年に、日本は国連で決められた『子どもの権利条約』に加盟しています。その基本原則は『子どもの最善の利益』。大人の都合ではないのです。大切なことがたくさん書かれていますが、その中でも一番大切にしたいと思っているのは第12条にある『自己の意見を表明する権利』です。自分の気持ちを正直に言ってよいってことです。必ずしも家庭内で自分の気持ちを気軽に話せるとは限らないから、教育の場面ではその「気持ち」に注目していくことを提案していきたいと思っています。目をそらしたくなるような事件が起きています。個人の責任ではなく、社会全体でその根っこにあることを深く考え、ストレスが少しでも減るように、誰もが～ごきげんさん～で生きていく社会になることを願います。



イラスト：ぶるするは「ハルのきもちいろいろカード」より

UD

Universal Design



ユニバーサルデザインってなあに？

※「ユニバーサル」=「普遍的な、全体の」

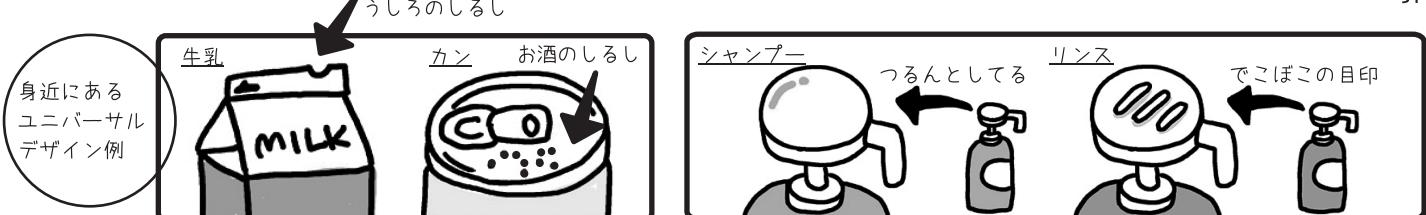
ユニバーサルデザイン、私がこの言葉を聞いて思い浮かべるイメージは、駅の広い改札、センサー式蛇口、標識（トイレや非常口など）。ただ、これらは一部の事例で、ユニバーサルデザインを提唱した、米国人建築家ロナルド・マイスによると、「全ての人が障害をもっている（一時的にあるいは将来にもつ）」だから、「できるだけ多くの人が利用可能であるようなデザインにすること」というのが基本的な考え方です。

彼自身病気を患った後、車イスでの生活を余儀なくされた経験がありますが、その経験があったからこそ、生まれた考えでもあります。

誰にでも使いやすいものとなると、デザイナーしかできないこと？と思うかもしれません。でも、誰でも初めての経験（行う、行く、話す）をするとき、不安を感じことがあると思います。その不安を感じたとき、私達はどうしていますか？誰かに聞いたり、お願ひしたり、人を頼っていませんか？

究極のユニバーサルデザインは、安心して誰にでも頼れる社会だと思います。この社会は私達の心掛けで作っていくことができると思います。デザイナーは才能がある人ではなく、私達一人一人がデザイナーなのです。（H.T）

※参考サイト：ユニバーサルデザイン .jp



他にもいろいろあるよ！探してみよう！

◆定期総会のお知らせ◆

7月28日（日）10:00～11:30 きなこにて

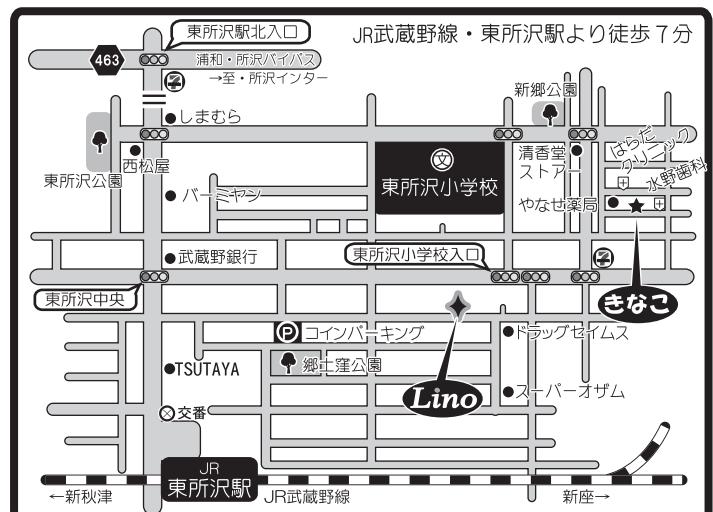
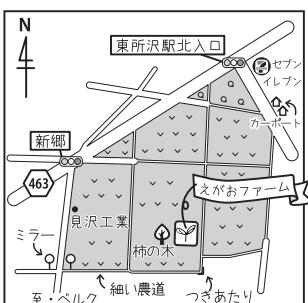


◆今後の予定◆

- ・きなこであそば（未就学のお子さんと保護者）：9月19日 / 10月17日 / 11月21日 各月（木）9:30～11:00
- ・きなこまつり：10月12日（土）12:00～15:00
- ・公開講座：11月30日（土）「発達が気になる子の育て方」於：松井公民館（予定）後援：所沢市
講師：立石美津子さん（子育て本著者・講演家として活躍中！自閉症児の母として、自身が体験した子育てのノウハウをお話しします！）



オーガニックのお野菜が
もらえたり、
時間が合えば
ランチにありつける
かもです（^ ^）



〈子育て相談受付〉

～進路相談、不登校相談など～

放課後等ディサービス Lino (リノ)

東所沢1-17-20 プレミエール東所沢1階
TEL/FAX 04-2001-4769

私たちえがおのたねは、現在、正会員18名、賛助会員60名です。
充実した施設運営のため、新規の正会員・賛助会員を募集しています。
ぜひ皆様のお力添えをお願いします。

HP・メール・お電話にてお知らせください。

会員、賛助会員の方には、季節ごとのたねまき通信や子育て情報を
お届けします。既に会員の方には継続をよろしくお願ひいたします。

《賛助会費》 一口（年会費）千円

《正会員費》（入会金）1万円（年会費）五千円

【振込み先】ゆうちょ銀行 記号 10360 番号 21600941

えがおのたね時き通信 第24号
2019年7月発行

【発行】特定非営利活動法人えがおのたね

〒359-0021所沢市東所沢3-6-17

TEL/FAX 04-2008-2437（きなこ）

Email（メールアドレス）egaonotane@ozzio.jp

URL（ホームページ）http://egaotane.com